



Title	大阪大学低温センターだより No.2 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1973, 2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21895
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

桜の散り始める頃、第2号の編集が終了しました。皆様のお手元に届く頃はつつじの季節でしょうか。今回は大分盛沢山です。これからも息切れしないように続けなければと編集委員一同張切っております。

物価高、公害、買占めがさわがれる毎日ですが、ものの本によれば21世紀まで今の勢で人間が増え続ければ大変な事になるそうです。何しろ60Kgもある動物が何十億もこの地球上に住みついている事が生物学的には異常であるという訳です。まず食物が無くなる、そうすれば石油タンパクも食べざるを得なくなるでしょう。ところがその石油がここ2、30年で無くなるというから事は大変です。石油が無くなった後のエネルギー問題は特に深刻でしょう。そうなれば液体水素が燃料になるだろうという事は然る物性の先生の言を待つまでもなく想像される事ですが、さてその水素はどうやって作る……水の電気分解……ではその電力は……等と考えて行くと甚だ心細くなります。とまれ、電力輸送の効率を現在より飛躍的に高める事が重要なポイントとなる訳で、今後超電導送電や低温送電等に関するCryogenicsは益々脚光をあびることでしょう。

どうぞ夢のある話をどんどん御投稿下さい。お待ちしております。(森崎 記)

大阪大学低温センターだより 第2号

昭和48年4月 発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話(06) 877-5111(5月20日より) 内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話(06) 856-1151(5月20日より) 内線 2563

印刷所 と う け ん 社

大阪市福島区海老江下2-11

電話(06) 451-1061

代表 村 上 喜 与 志

低温センター利用案内

吹 田 分 室

業 務 内 容	利 用 日	申 込 方 法
液体ヘリウム (5ℓ未満)	毎週 火、木、金	前日の16時まで指定の申込用紙に記入して、液化室へ持参
液体ヘリウム (5ℓ以上)	毎週 火、金	希望日の2週間前から1週間前の間に担当者(牧山)へ申込み
液 体 水 素	奇数月の第4火曜日 を含む週	奇数月の第2土曜日までに担当者(脇坂)へ申込み
液 体 窒 素	平日 10～16時 土曜 10～12時	申込みの必要なし、所定の用紙に必要事項を記入
部 品 の 供 給	毎週 月、木の午前中	指定の申込用紙に必要事項を記入して持参
器 具 の 貸 出	特に定めず	センター技官と相談

豊 中 分 室

業 務 内 容	利 用 者	申 込 方 法
液体ヘリウム (5ℓ未満)	毎週 月、水、金	前日の16時(月曜の分は土曜の12時)までに液化室の黒板に記入
液体ヘリウム (5ℓ以上)	特に定めず	約1ヶ月前に液化室へ申込み、技官と相談
液 体 水 素	偶数月の第1週	10日前までに液化室へ申込み
液 体 窒 素	平日 9～17時 土曜 9～12時 (5ℓ未満は時間外) 供給可	申込みの必要なし、所定の用紙に必要事項を記入
器 具 の 貸 出	特に定めず	センター技官と相談